

平成25年度農作物共済（麦災害収入共済方式）支払実績



～支払共済金170万円～

平成25年産農作物共済（麦災害収入共済方式）の損害評価高がまとまり、12月10日までに対象農家14戸に共済金170万5,992円が支払われた。

県内の気象経過は、昨年秋の播種後から根雪前までの気温は、平年より高めに推移し、降水量は11月に平年を上回った。積雪期間は122日間と平年より24日長く、消雪後から出穂期までの気温は、平年よりも低く推移した。降水量は5月中旬～6月下旬は少なく、その後、成熟期にかけて多い日が続いた。

被害状況は、共済減収量割合で見ると、土壌湿潤害が被害全体の約99%を占めている。また、雨害湿潤害が約1%となった。

《主な災害と被害状況》

土壌湿潤害

消雪の遅れとその後の低温により土壌湿潤状態が続いたため生育が遅れ、生育量が不足した。

雨害湿潤害

分けつ最盛期の10月～11月にかけての長雨の影響で、湿潤状態が続き根腐れによる生育不良が発生した。

組合名	共済金支払対象				被害率	
	戸数(戸)	被害面積(a)	生産金額の減少額(円)	共済金(円)	面積(%)	金額(%)
津軽広域	9	1,693.0	777,615	777,615	14.6	2.5
南部地域	5	1,355.9	928,377	928,377	15.9	6.7
合計	14	3,048.9	1,705,992	1,705,992	15.1	3.8